

令和7年度塩竈市下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総括事項

イ. 処理状況

本年度の下水道事業の年間総処理水量は、7,526,487 m³ (20,621 m³/日)で、前年度 7,459,162 m³ (20,436 m³/日)と比較して 67,325 m³ (184 m³/日)0.90%増加しました。

年間有収水量は、5,886,936 m³ (16,129 m³/日)で、前年度 5,939,053 m³ (16,271 m³/日)と比較して 52,117 m³ (142.8 m³/日)0.88%減少しました。

有収率は 78.22%で、前年度 79.62%と比較して 1.40 ポイントの減となりました。

年度末の処理区域内戸数は、24,386 戸で、前年度、24,349 戸と比較して 37 戸 0.15%増加しました。

ロ. 建設改良の状況

○ 建設改良事業

主な改良工事として、新浜町二丁目地区で延長 54.45mの雨水管布設工事、藤倉污水ポンプ場、石田污水マンホールポンプ場、大日向 2 号污水マンホールポンプ場、向ヶ丘污水マンホールポンプ場のポンプ等の更新工事、中央ポンプ場の入出力装置盤の更新工事、牛生雨水ポンプ場外1箇所の蓄電池更新工事、中央ポンプ場の屋根防水更新工事を行いました。

ハ. 財政状況 * ()内は税込決算数値

本年度の収益的収入は、3,975,822,054 円 (4,090,317,874 円)となりました。これは、営業収益で 1,719,725,200 円 (1,829,781,372 円)及び営業外収益で 2,250,219,897 円 (2,254,071,897 円)、特別利益で 5,876,957 円 (6,464,605 円)によるものです。

収益的支出は 3,657,113,414 円 (3,760,343,732 円)となりました。これは、営業費用で 3,438,432,584 円 (3,495,571,376 円)及び営業外費用で 218,680,564 円 (264,772,064 円)、特別損失で 266 円 (292 円)によるものです。

これらの結果、本年度は 318,708,640 円の純利益を生じ、利益剰余金は 835,236,166 円となりました。

資本的収支は、総収入 2,953,639,900 円 (うち仮受消費税 0 円)に対し、総支出 3,898,012,293 円 (うち仮払消費税 42,747,905 円)となり、収入不足額 1,031,431,393 円 (翌年度へ繰越される支出の財源に充当する額 87,059,000 円を除く。)は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 28,378,488 円、当年度分損益勘定留保資金 985,953,464 円、減債積立金 17,099,441 円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

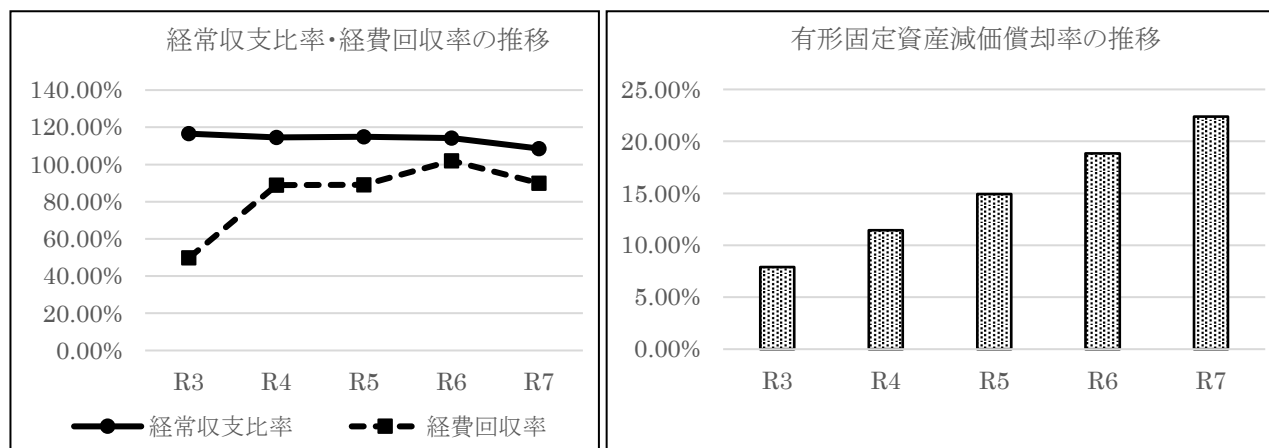
令和 7 年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、下水道施設等維持管理包括的民間委託の導入により費用の抑制を図りましたが、使用料収入や他会計補助金の減などにより収入が減少し、公共下水道事業計画外業務委託などの例年にない業務により、前年度比 5.59 ポイント減の 108.56%となりました。健全経営の水準である 100%を上回っています。

また、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比 12.01 ポイント減の 89.99%となり、汚水処理に係る費用のうち使用料で賄うべき費用を賄えている状況である 100%を下回っています。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 3.53 ポイント増の 22.37%となっており、これは新浜地区の管渠工事や市内ポンプ場のポンプ及び制御盤の更新工事の完了によるものです。今後も、現在の経営状況を維持しつつ、将来の施設更新需要に備えた運営を行ってまいります。

<経営指標の推移>

	R3	R4	R5	R6	R7
経常収支比率	116.57%	114.52%	114.96%	114.15%	108.55%
経 費 回 収 率	49.78%	88.89%	89.13%	102.00%	89.99%
有形固定資産減価償却率	7.89%	11.45%	14.93%	18.84%	22.37%



- ・ 経常収支比率＝(経常収益／経常費用)×100
- ・ 経 費 回 収 率＝(下水道使用料／汚水処理費(R4 から公費負担分を除く))×100
- ・ 有形固定資産減価償却率＝(有形固定資産減価償却累計額)／(有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価)×100